
2026年度 日本乳幼児教育学会 新人賞募集要項

1. 趣旨

本学会は、乳幼児教育に関する研究に携わる意欲に満ちた優れた若手研究者の育成のため、「新人賞」を設けております。

これは、2025年度中に乳幼児教育に関連のある修士論文を執筆した大学院生を対象としており、研究目的、方法、手続きなど論理的、実証的で、研究者として将来性があると期待される研究に対して与えられるものです。受賞者は学会開催時に表彰されます。多くの方々からの応募をつのっています。

2. 対象者

2025 年度中に乳幼児教育に関連する修士論文を執筆し、修士の学位を取得する大学院生。

〈応募条件〉 下記の3つの条件を満たすこととする。

- ① 2025 年 4 月 1 日現在、大学院修士課程ならびに博士（前期）課程の最終学年に在籍していること。
- ② 本学会会員であること、または応募時に本学会に入会手続きを取ること。
- ③ 論文指導教員（学位取得大学での修士論文主査）による推薦が得られること。

（推薦書が必要です。なお、論文指導教員は本学会会員でなくても構いません。）

3. 授賞式

日本乳幼児教育学会第36回大会の総会にて授賞式を行い、表彰されます。受賞者は原則として授賞式に出席することとなっています。

4. 応募の方法

下記4点を簡易書留等（レターパック可）にて学会事務局まで郵送してください。

- ① 応募用紙<様式 1> 1 部
- ② 修士論文をコピーしたもの 1 部
 - * 大学に提出した形式でよい
- ③ 修士論文の要旨 5 部
 - * A4版(40 字×40 行)で 10 ページ以内とし、表紙<様式 2>をつける。
- ④ 論文指導教員による推薦書<様式 3> 1 部

* 様式 1～3 は、本学会ホームページよりダウンロードできます。

5. 募集期間

2026年3月15日 から 2026年3月31日 <消印有効>

* 期間外に提出された応募書類は、受け付けできません。

6. 選考方法

本学会理事会に委任された研究推薦委員会が対象論文より推薦を行い、本学会会長を長とした審査委員会において最終選考を行います。なお、応募者に対して研究内容等について、照会する場合があります。

7. 決定通知

新人賞の応募結果は、2026年10月頃の通知を予定しています。

8. 本学会会員でない場合の入会手続き

- ① 新人賞応募にあたり、本学会の会員になることが必要となります。
- ② オンライン入会申込システムにて **【3月15日まで】** に入会申込を完了し、新人賞応募の旨を末尾の学会事務局までお知らせください。
申込内容を確認しだい会費支払等をご連絡します。
- ③ オンライン入会申込システムは本学会 HP よりアクセス可能です。
- ④ 入会手続きに関してのその他の詳細は、本学会 HP をご覧ください

9. その他

- ① 受賞者が授賞式に出席する際の交通費はご本人負担でお願いします。
- ② 提出された応募書類等は返却いたしませんのでご了承下さい。

10. 授賞論文題目

- 2003 年度 「幼児の「表現スタイル」を想定した保育環境の構成」
- 2004 年度 「幼児の砂遊びにおける遊びとイメージの共有」
- 2005 年度 「出来事としての〈親〉の生成
—『〈親〉になる』ことへの物語論的アプローチ—
- 2006 年度 「幼児期前期における親密な仲間関係の形成についての縦断的検討」
- 2007 年度 該当なし
- 2008 年度 「子どもにとっての幼小移行を滑らかにするために小学校教員はどのような視点をもつべきなのか
—幼小人事交流を経験した小学校教員の教育観・こども観の変容より—
- 2009 年度 「モンテッソーリにおける自由と教育
—autoeducazione をめぐって—
- 2010 年度 「気になる子ども」や障害のある子どもを含む保育における保育士の
困り感変容プロセス—公立保育所保育士の面接調査より—
- 2011 年度 該当なし
- 2012 年度 「保育環境におけるテラスの機能に関する研究」
- 2013 年度 該当なし
- 2014 年度 「協同的な活動における幼児のメンターシップに関する研究」
- 2015 年度 「エピソード記述への取組みによる幼児理解の変容
—幼児理解と保育記録の関連に着目して—
- 2016 年度 「安全管理・危機管理に関する保育者の専門性」
- 2017 年度 「1・2 歳児の反抗・自己主張に対する養育者と保育士の対応、
感情、理解 —映像を媒介にした語りの分析—
- 2018 年度 「幼児の描画過程における他者との対話に関する研究」
- 2019 年度 「幼稚園の協同的な遊びや活動における保育者の言語的援助
—4、5 歳児クラスでの観察調査に基づく保育者の「質問」の分析—
- 2020 年度 「4-5 歳児の自由遊びにおける鬼ごっこのプロセスに関する研究
—虚構場面の創造と変容—
- 2021 年度 「園庭の大型遊具における幼児の「挑戦的活動」

「登はん型遊具の利用実態と危険・安全に関わる相互作用の分析」

2022年度 該当なし

2023年度 「保育政策過程への参加とその効果の定量的検証－代表制論研究を参照して－」

2024年度 「認定こども園における保育実践上の課題」
「1-2歳児は水とどのように関わっているか 一園における自然発生的場面の微視発生的分析」

2025年度 「小規模保育施設における連携の実態と課題－2歳児の環境移行に焦点をあてて－」

11. 問い合わせ

問い合わせは「学会新人賞応募について」と明記し下記の学会事務局までお願いいたします。

日本乳幼児教育学会事務局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2-401
株式会社ガリレオ学会業務情報化センター内
E-mail : g055jseyc-support@ml.gakkai.ne.jp